

合同夏季セミナー「CO₂の削減・回収・貯留技術の最先端」

主催：化学工学会 エネルギー部会

日本鉄鋼協会 環境・エネルギー・社会工学部会 グリーンエネルギーフォーラム

CO₂ 排出量の大幅削減を達成するため、既に様々な技術開発が開始されています。その中で、化石燃料に依存している火力発電所や製鉄所からの CO₂ 排出削減は非常に困難であり、排出される CO₂ の回収は必要不可欠です。一方で、排ガス中の CO₂ 濃度は比較的高いため、その回収は他の排出ルートと比較すると技術導入の実現可能性が高く、実用化が期待されています。さらに、回収した CO₂ の処理方法は地中や海底などへ貯留することが主に検討されています。

本セミナーでは、製鉄工程からの CO₂ 排出量の削減ポテンシャルや CO₂ 回収技術の現状を報告していただくと共に、回収した CO₂ の貯留方法について最先端の研究を紹介していただきます。また、石炭のガス化による高効率複合発電と CO₂ の分離回収に関する技術開発を行っている電源開発株式会社の若松研究所の見学も合わせて実施する予定です。

本会合は日本鉄鋼協会と化学工学会の 2 組織が連携し企画されました。多数の方にご参加頂き、活発で有意義なディスカッションの場とし、両組織の交流の中で新たな技術開発の端緒を見出す機会となるよう期待しております。

1. 日時：平成 22 年 7 月 21 日（水）－ 22 日（木）

2. 場所： 21 日；株式会社住友金属小倉 内「このみクラブ」
（〒803-0803 福岡県北九州市小倉北区許斐町 1）
22 日；株式会社住友金属小倉および電源開発株式会社若松研究所
（〒808-0111 福岡県北九州市若松区柳崎町 1）

3. プログラム：

7 月 21 日

13：00～13：05 挨拶

13：05～13：55 製鉄プロセスからの CO₂ 排出量削減技術

石渡 夏生氏（JFE スチール）

13：55～14：45 CO₂ の分離回収技術

藤岡 祐一氏（RITE）

14：45～15：00 休憩

15：00～15：50 CO₂ の地中貯留技術

海江田 秀志氏（電力中央研究所）

15：50～16：40 ゼロエミッション SOFC の可能性

嘉藤 徹氏（AIST）

16：40～16：55 総合討論

16：55～17：00 閉会挨拶

17：30～ 懇親会（会場未定）

7月22日

9:00 「このみクラブ」集合

9:30～12:00 株式会社住友金属小倉
製鉄プロセスの見学

12:00～13:00 昼食（「このみクラブ」で弁当の予定）

13:30～15:30 J-Power 電源開発株式会社 若松研究所
石炭ガス化炉、CCS 関係設備の見学

16:00 小倉駅解散

参加費：エネルギー部会員または日本鉄鋼協会環境・エネルギー・社会工学部会員：無料
非会員：2,000円（当日徴収）

懇親会費：5,000円程度を予定

参加者定員：50名（予定）

参加申込期限：6月30日（水）（先着50名まで）

参加申込方法：参加申込は下記 Web ページの下部「申込」から御願いたします。

<http://www.isij.or.jp/Bukai/Gakujutsu/EcoSha/102206.htm>

問合せ先
（財）電力中央研究所 エネルギー技術研究所
橋本望

TEL：046-856-2121

E-mail：nozomu@criepi.denken.or.jp